

海洋ごみ対策に関する日本財団との連携について

平成 31 年 2 月 18 日 (月)

< 日本財団同時発表 >

環境省と日本財団は、海洋ごみ対策に向けた共同事業として、海ごみゼロウィーク、海ごみゼロアワード、海ごみゼロ国際シンポジウムを実施いたします。

1. 共同プロジェクト推進の背景

近年、海洋ごみによる海洋環境の汚染が進行し、生態系や人への影響も懸念されており、対策が急務となっています。我が国は、国際社会でリーダーシップを発揮し、これらの問題解決に取り組むことが求められています。

環境省と日本財団は、これらの問題解決に向けて、現在、それぞれ以下の取組を実施しております。

① 環境省「Plastics Smart (プラスチック・スマート)」キャンペーンの推進

環境省では、海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた取組として、不必要なワンウェイのプラスチック排出抑制や分別回収の徹底など、“プラスチックとの賢い付き合い方”を全国的に推進し、取組を国内外に発進する「Plastics Smart」キャンペーンを 2018 年 10 月に立ち上げました。

② 日本財団「Change for the Blue (チェンジ・フォー・ザ・ブルー)」の推進

日本財団では、国民の一人ひとりが海ごみの問題を自分ごと化し、“これ以上海にごみを出さない”という社会全体の意識を高めるため、「海と日本プロジェクト」を基盤とした産官学民が協力し合う取組「Change for the Blue」を 2018 年 11 月より推進しています。

このように、環境省と日本財団は、海洋ごみ問題を解決するという目標を共有しておりますが、このたび、海洋環境保全に向けた機運をさらに盛り上げるため、以下の通り連携することとしました。

2. 共同実施する3つの取組

今後、環境省と日本財団は、連携して以下3つの取組を実施いたします。

① 「海ごみゼロウィーク」

5 月 30 日 (ごみゼロの日) から 6 月 5 日 (環境の日) を経て 6 月 8 日 (世界海洋デー) 前後の期間を“海ごみゼロウィーク”と定め、海洋ごみ削減に向けた全国一斉清掃活動への参加を、全国の個人、団体、企業、自治体等に広く呼びかけます。参加に当たっては、2019 年 3 月上旬開設予定の特設ウェブサイトに登録していただきます。

② 「海ごみゼロアワード」

海洋ごみ対策の取組を募集し、優良事例を表彰し、国内外に発信します。応募受付用ウェブ

サイトは2019年2月18日に開設します。

(URL: http://uminohi.jp/umigomizero_award2019/)

③ 「海ごみゼロ国際シンポジウム」

2019年6月に日本で開催される「G20 持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」では、海洋ごみ問題が取り上げられる見込みです。このような機運を捉え、6月中旬に、海洋ごみ対策に関する国際シンポジウム「海ごみゼロ国際シンポジウム」を開催します。同シンポジウムでは、「海ごみゼロアワード」表彰式の開催や、国内の活動や取組等の紹介をし、国内外に発信します。

開催日：2019年6月中旬／ 場所：笹川平和財団ビル・国際会議場

3. 添付資料

- ・【別添1】「海ごみゼロウィーク」について
- ・【別添2】「海ごみゼロアワード」について
- ・【別添3】「海ごみゼロ国際シンポジウム」について
- ・【別添4】「海ごみゼロアワード募集要項」

【日本財団事業に関するお問合せ先】

公益財団法人 日本財団海洋事業部

海洋チーム 宇田川 貴康 (電話：080-4131-9893)

海洋チーム 勝俣 創介 (電話：070-3545-7814)

環境省水・大気環境局水環境課海洋環境室
直 通：03-5521-9025
代 表：03-3581-3351
室 長：中里 靖 (内線 6630)
室長補佐：矢野 克典 (内線 6631)
担 当：高尾 珠樹 (内線 6632)

海ごみゼロウィーク

UMIGOMI Zero WEEK



目的

5月30日（ごみゼロの日）から6月5日（環境の日）を経て6月8日（世界海洋デー）前後の期間を、海ごみゼロウィークとして海洋ごみ削減に向けた全国一斉清掃アクションを全国の個人・団体・企業・自治体へ呼び掛け、ごみ拾い活動を行い、そのアクションを可視化していく。それにより、プロジェクトをオールジャパンで連動し現象化していき、世界へ発信していく。

活動の柱

日本財団・環境省から、各団体・機関に応じて下記内容と呼び掛け、海ごみゼロウィークをオールジャパンで促進していく。

①ごみ拾い活動

- ごみ拾い活動の呼び掛けを行い、ウィーク期間中に広域で実施。
- ・政府官公庁
 - ・NPO・NGO、ボランティア団体
 - ・地方自治体、地域コミュニティ
 - ・海と日本連携パートナー、など

②ごみの調査・分析

- ごみ拾い活動で収集したごみの調査を行い、どこでどのようなごみがどのぐらいの量や種類があるかなどを分析して報告。
- ・地方自治体
 - ・各研究機関
 - ・NPO・NGO、関連企業等

③海洋ごみ普及啓発

- 海洋ごみに対する知識・意識向上を目的としたセミナーや学習プログラム、イベントなどを実施していく。
- ・教育機関
 - ・海洋関係団体
 - ・NPO・NGO

日本財団・環境省の取組

- ・各活動やイベントの情報を集約しweb上で掲出するなど、情報を発信。
- ・オリジナルごみ袋の提供
- ・後方支援活動(取材・撮影等サポート)

メッセージ

■趣旨

いま、海洋ごみによって、海の未来は危機に瀕している。海の危機は、人類の危機。そして、海洋ごみの大半は、町から来ている。私たちの身近な生活ごみは、川から海へと流れ、海を汚していく。だからこそ、海の豊かさを守り、これ以上、海にごみをださない、という強い意思で、日本全体が、世界中が連帯する必要がある。5月30日（ごみゼロの日）～6月8日（世界海洋デー）前後までを海ごみゼロウィークと定め、日本全体が連帯し、海洋ごみ削減のためのアクションを一斉に行う。ごみを出さない、ごみを捨てない、ごみを拾う。この当たり前な行動は、日本の誇りであり、世界の模範となる。そして、一人ひとりの行動が、海の未来を守ることにつながる。いまこそ、行動を起こそう。日本から世界へ、海の未来を変える挑戦を実現していこう。

■共通アクション

アイテムを身に着けて、
海ごみゼロ袋でみんなで全国一斉清掃アクション！

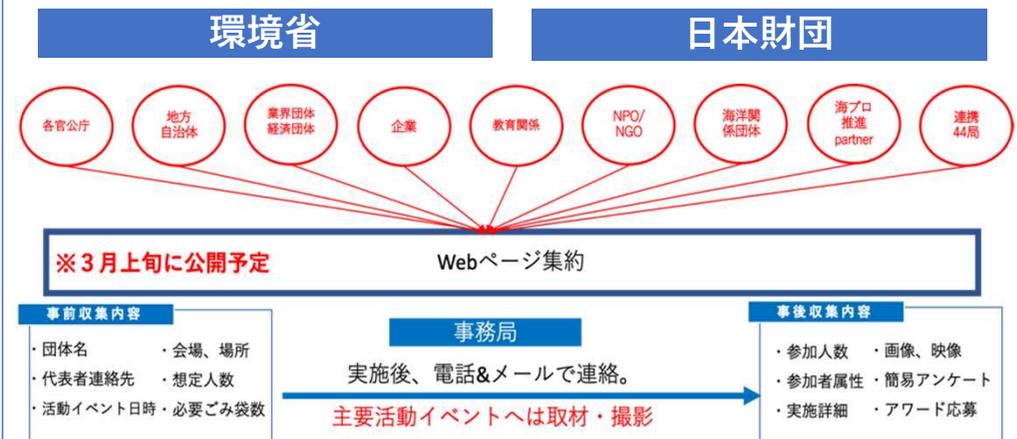
青いTシャツや青いタオル、青いアクセサリなど、青色のアイテムを身に着けて活動に参加して、オリジナルごみ袋でごみ拾いを行う。

目標

3カ年で延べ、240万人のプロジェクト参加

■2019年海ごみゼロウィーク期間中
ウィーク全体で、2000箇所、80万人規模参加を目指す

情報集約



海ごみゼロアワード

UMIGOMI Zero AWARD



目的

- 海洋ごみ問題の解決には、我が国そして国際社会において対策を積極的に行うことが不可欠。
- 海洋ごみ対策に関して、全国から優れた取組を募集・選定し、2019年6月に開催予定の「海ごみゼロ国際シンポジウム」等で表彰し、深刻化する海洋ごみ問題の解決に向けた日本のモデルとなるような取組を世界に発信していく。

部門

以下の3部門を募集部門として設定し、企業・研究機関、NGO・NPO、地方自治体・個人の海洋ごみ対策の取組を募集。自薦他薦ともに受付。

アクション部門



海洋ごみ問題に対して、効果的な活動を継続的・発展的に展開し、かつその功績が顕著であると認められる実践的活動や普及啓発等の取組み

イノベーション部門



海洋ごみの円滑な処理及び発生抑制において、革新的かつその功績が顕著であると認められる技術開発等の取組み

アイデア部門



海洋ごみ問題をこれまでにない視点から解決しよう、既存の枠にとらわれない将来に向けた広がりが見込まれる萌芽的な取組みや着想

応募

応募期間：2月18日（月）18:30～4月10日（水）17:00

応募、審査、表彰のスケジュールは以下の通り

2月18日 ～4月10日	海ごみゼロアワードの募集
4月15日 ～4月26日	海ごみゼロアワード審査委員会による 審査・受賞者決定
5月7日週	受賞者への審査結果の通知
6月 中旬	「海ごみゼロ国際シンポジウム」での表彰

応募についての詳細は以下のURLを参照。

URL：http://uminohi.jp/umigomizero_award2019/

審査方針

選考の審査方針としては、下記4つを設定。

先進性・
先駆性

独自性

継続性・
波及性

有効性

※別途審査委員会と協議の上、審査基準を策定

表彰

各部門ごとの表彰と、最優秀賞・審査委員特別賞について表彰を行う。

最優秀賞 (1名)	奨励金 100万円
環境大臣賞 (各部門1名・計3名)	奨励金 各部門 金額 20万円
日本財団賞 (各部門1名・計3名)	奨励金 各部門 金額 20万円
審査委員特別賞 (1名)	奨励金 金額 20万円

○ 2019年6月に開催予定の「海ごみゼロ国際シンポジウム」での表彰。

○ 「プラスチック・スマート」、「海と日本プロジェクト」等のwebサイトでの発表。

目的

- ・ 2019年6月15日、16日に日本が議長国を務めるG20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合が開催され、海洋プラスチックごみ問題が取り上げられる見込み。
- ・ このような機運を捉え、国内外の幅広い関係者に参画していただき、日本を中心に海洋プラスチックごみ対策における企業・団体の優れた取組や学術研究の成果などを、一般公開のもとで紹介し、問題の解決に向けた我が国の取組を国内外に発信する。

日時・場所

日時：6月中旬

会場：笹川平和財団国際会議場

住所：港区虎ノ門1-15-16



対象

- ・ 各国関係者
- ・ 企業・業界団体
- ・ NPO・NGO
- ・ 政府、地方自治体関係者
- ・ メディア
- ・ その他

※日英同時通訳を予定

構成

■シンポジウム構成（予定）

- ・ 海洋ごみによる汚染の現状報告
- ・ 海ごみゼロアワード表彰式
- ・ 日本の取組紹介
- ・ 世界の取組紹介

※シンポジウム後、関係者によるレセプションを実施予定

※プログラムの詳細は決まり次第公表



※イメージ

海ごみゼロアワード

募集要項

2019年2月18日

日本財団

このアワードは、

日本財団 海と日本プロジェクト「Change for the Blue」

環境省 「プラスチック・スマート」キャンペーン

の共同事業の一環として進めています。



1. 事業の目的と趣旨

近年、海洋ごみ等による海洋環境の汚染が進行し、生態系や人への影響についても懸念されており、我が国そして国際社会において、対策を積極的に行うことが急務となっています。

海に囲まれ、約3万kmの海岸線を有し、約447万平方kmと世界第6位の広さの領海及び排他的経済水域を有する海洋国である我が国は、そうした問題に対してリーダーシップを発揮し、問題提起をしながらさまざまな課題の解決に対するモデルを国際社会に発信していくことが望まれています。

そうしたことを背景に、日本財団では、2016年から推進している『海と日本プロジェクト』の基盤を活用しながら、産官学民が連携したオールジャパンで海洋ごみ対策に取り組む新たなプロジェクト『Change For The Blue』を、2018年11月に発足しました。

また、環境省では、2018年10月から、ポイ捨て撲滅を徹底した上で、不必要なワンウェイのプラスチックの排出抑制や分別回収の徹底など、“プラスチックとの賢い付き合い方”を全国的に推進する「プラスチック・スマート」キャンペーンを展開しています。

今回の海ごみゼロアワードでは、海洋ごみ対策に関して、全国から優れたモデルとなるような取組を募集・選定し、2019年6月に開催予定の海ごみゼロ国際シンポジウムで表彰するなど、ますます深刻化する海洋ごみ対策の日本の取組を世界に発信します。

海洋ごみ対策の活動を行っておられる企業、公共団体、NPO・NGO、地方自治体等の皆様におかれましては、本アワードに奮ってご応募くださることを期待しております。

2. 募集部門及び内容

海洋ごみ対策は、産官学民の多様なセクターが連携しオールジャパンで解決に取り組むべきことであるため、以下の3部門を募集部門として設定し、企業・研究機関、NGO・NPO、地方自治体・個人の海洋ごみ対策の取組を募集します。自薦他薦ともに受付いたします。

① アクション部門

海洋ごみ問題に対して、効果的な活動を継続的・発展的に展開し、かつその功績が顕著であると認められる実践的活動や普及啓発等の取組み

② イノベーション部門

海洋ごみの円滑な処理及び発生抑制において、革新的かつその功績が顕著であると認められる技術開発等の取組み

③ アイディア部門

海洋ごみ問題をこれまでになく視点から解決しうる、既存の枠にとらわれない将来に向けた広がり期待される萌芽的な取組みや着想

3. 表彰内容

① 表彰の種類

「2. 募集部門及び内容」で示した3部門ごとに、以下の賞の受賞者を、「4. 選定方法及び審査基準」に基づき選定します。

- 最優秀賞 1者
- 環境大臣賞 各部門1者・計3者
- 日本財団賞 各部門1者・計3者
- 審査委員特別賞 1者

② 表彰の方法

受賞者には、個別に通知を行うとともに、以下の方法で表彰します。

- 2019年6月に開催予定の「海ごみゼロ国際シンポジウム」での表彰
- 日本財団及び「海と日本プロジェクト」のウェブサイトでの発表
- 環境省「プラスチック・スマート」キャンペーンのウェブサイトでの発表
- プレスリリースでの報道関係者への発信

③ 奨励金

- 最優秀賞 金額 100万円
- 環境大臣賞 各部門 金額 20万円
- 日本財団賞 各部門 金額 20万円
- 審査委員特別賞 金額 20万円

4. 審査方針

応募された取組について事務局にて整理を行った後、以下の審査方針及び学識経験者を含む海洋分野等の専門家で構成された海ごみゼロアワード審査委員会と別途協議して定めた審査基準に従って、受賞者を選定します。

なお、公募締切後、必要に応じて、応募内容についてヒアリングを実施します。

<審査方針>

- ① 先進性・先駆性
- ② 独自性
- ③ 継続・波及性
- ④ 有効性

5. 公募事業の進め方

本公募事業は、以下の順序・内容・スケジュールにて実施予定です。

2月18日
～4月10日

海洋ごみ対策の取組の募集

4月15日
～4月26日

海ごみゼロアワード審査委員会による審査・受賞者決定

5月7日週

受賞者への審査結果の通知

6月中旬

「海ごみゼロ国際シンポジウム」での表彰

6. 応募方法

(1) 応募期限

4月10日(水) 17:00 まで(必着)に以下の方法で応募してください。

(2) 応募方法

以下の3つの方法で応募することができます。

① 申請書を郵送

申請書(別紙様式)に必要な事項を記入の上、以下の応募書類提出先に郵送ください。適宜、参考資料を同封することも可能です。

② 申請書をメール送付

申請書(別紙様式)に必要な事項を記入の上、メール添付で送付してください。適宜、参考資料を別添することも可能です。

※提出先アドレス E-mail : umigomi-award@satoyume.com

※電子データ(PDFファイル等に変換して頂く必要はありません。マイクロソフト社WORDファイルのまま御提出ください)

※メール送付の際は、件名を「海ごみゼロアワード 応募書送付」と表記ください。

③ アワードの特設WEBサイトの応募フォームに申請書をアップロード

海ごみゼロアワードの特設WEBサイトの応募フォームに、申請書(別紙様式)に必要な事項を記入の上アップロードしてください。

※特設WEBサイトURL http://uminohi.jp/umigomizero_award2019/

※ご応募頂いた取組のうち、環境省の「プラスチック・スマート」キャンペーンにまだご登録頂いていないものについては、事務局にて登録手続きをし、「プラスチック・スマート」のキャンペーンサイト上で取組を掲載・情報発信をさせていただきます。

(3) 応募書類提出先及び問い合わせ先

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-7-16 市ヶ谷 KT ビルⅡ 9階

株式会社さとゆめ内 海ごみゼロアワード事務局

担当：嶋田、遠藤

Tel : 03-5275-5105 Fax : 03-5357-1514 E-mail : umigomi-award@satoyume.com

※電話でのお問い合わせ時間は、10:00～18:00 です。

※メールでのお問い合わせの場合、件名を「海ごみゼロアワード お問い合わせ」と表記ください。

以上